

中間中央公民館自然再発見講座 2017/7.21  
～篠栗：巡礼の道と千年の巨木を訪ねて～

記録的な暑さの中、33名（公民館スタッフ2名）の参加です。681メートルの若杉山の山麓、若杉楽園キャンプ場からのスタートです。

久保田さんの挨拶の後、木村さんから若杉山霊場の歴史、大杉の苦難の歴史、杉と日本人の関わり、などの話をいただきました。

キャンプ場ですでに、下界とは3度くらいの温度差があり、一同幾分かホッとした次第です。

行きは、綾スギ（写真右）、トウダの二股杉、ジャレ杉を見て奥の院に登るコースです。

古くからの神功皇后伝説、中国からの密教の高僧や弘法大師の来山伝説が残されていることから、若杉山が太古より宗教の聖地であったことを大杉を見ながら

実感した次第です。又、大杉のほかにもスクッと伸びた次世代大杉候補も沢山あり参加者の驚きを誘っていました。



奥の院に至る急階段は、多分半分くらいは無理で迂回路を通ることになるかな、と予想していましたが、数人のみ迂回路で、あの方々は急階段で登られたのには、スタッフ一同感心しました。日頃より鍛錬されているようです。

奥の院で昼食をすまし、更に挾石を通ってお参りし、下山を開始しました。大和の大杉（左写真）、七又杉を経て、杉林の中を歩き無事駐車場に到着しました。

酷暑の中、全員無事に行事を終えることができました。

スタッフ（木村、久保田、野見山記）